

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成25年11月24日（日）14:00～15:30				
会場	栗野公民館	来場者数	18人		
担当班	D	福谷正人、増田敬、木下章、岡武彦、田中和義、今大地晴美			
		司会進行	今大地 晴美	受付	増田 敬、岡 武彦
		報 告 説 明	(総務) 福谷 正人		(産経) 田中 和義
			(文教) 木下 章		(駅前) 福谷 正人
パワーポイント	福谷 正人、今大地 晴美				
<p>1. 質疑応答及び意見</p> <p>(1) 総務民生常任委員会の報告</p> <p>Q：災害用マンホールトイレについて、災害時手筒の浄化センターが被災し稼働できない場合でも運用は可能なのか？</p> <p>A：構造上、下水管に繋げる前に大きな槽があり、ある程度はそこにためておける。いっぱいになれば汲み取ってまた使用することも出来る。したがって浄化センターが被災したら直ちに使えなくなるようなことは無い。</p> <p>(2) 産経建設常任委員会の報告</p> <p>Q1：リフォーム助成の審査中の委員の主な意見に、「一過性のモノではいけない。委員会として長期的な視点で新しい産業も考えていかななくてはならない」とあるが、3月以降その内容についてどういう検討をしたか？</p> <p>A1：具体的に今後の方針は決まっていない。具体的な事業は市から出されるものだが、委員会としてはそういう感覚で物事を進めていきたいという思いである。</p> <p>Q2：気持ちだけのものならわざわざ報告しなくてよい。 リフォーム支援だけでなく、もっと進めてくれるのかと期待して質問している。今後やっていただけるということで理解しておく。</p> <p>A2：しっかりとやっていく。</p> <p>(3) 文教厚生常任委員会の報告</p> <p>特になし</p>					

(4) 敦賀駅前整備についてのご意見

Q 1 : 駅前整備については市でも議会でも色々検討し、一時棚上げとなっているが、具体的に何か検討はしているのか？

市民の声を聴きたいのであればそういう場を設け、例えばワークショップとかフォーラムをするとか、市民の声を聴き、そういったことを踏まえて考えてもらえたら良いのでは。

A 1 : まず、議会報告会で皆さんの意見を聴く、これが第一歩です。今後具体的にどうするかは別にして、議会としては皆さんの意見を聴いてそれを反映させたいと思っている。

Q 2 : 新駅前広場は2年後に完成とのことだが、現在タクシーやバスの乗り場に屋根が無い。市に話をしたらタクシーの待合所は出来たが乗り場から遠い。今から2年間もそのような状況の中放っておくのは市民も市外からのお客さんも困るのではないか。市に対するイメージも悪いのでは？また駅前の交差点で駅利用者が車を停めて乗降している。しっかり管理しないと交通の問題も出てくるのでは？

A 2 : 確かに今屋根はなく、工事に掛かる前には議員からもそういう問題が出てくるのではないかという意見もあり、市とも協議した。仮設屋根とのことだが、仮設で2年間は認められないので本設にしなければならない。予算もかかってしまうということで、待合所を作ってもらった。

また、そういった事もあり、駅前交差点では体の不自由な方々に乗降してもらえるように看板を設置したという経緯がある。さらに交流施設も来年3月に供用開始となるのでそこも待合いに利用してもらい、完成までなんとか我慢をして欲しいとのことである。

Q 3 : 2年間雨ざらしになれというのは、市民は我慢できても市外からの人達は敦賀市に対して極めて悪印象を持つのでは？来年3月に交流施設がオープンしても、タクシーやバスは仮設の所へ行かないといけない。最近の雨の降り方をみてもそれはどうかと思う。

話を聴いていると市は最初から予算化していないようだが、どこへお金を使うかということが大変重要なことであり、そのあたりは議会が十分に検討すべきだと思う。議会はもっと検討して市外の方に迷惑が掛からないようにするのが役目だと思う。そうでなければ、議会の役割を果たしてもらえないので議会は必要ないという話にもなる。

A 3 : しっかりと受け止めて、市にも伝える。

Q 4 : 新幹線は現駅の東側に出来ると思うが、駅東の整備についても市民の意見を聴くなりしないと、市でなにか動いているらしいが具体的な話はみえてこない。平成18年の直流化の対応についても不十分であったと思う。十数年なんてあっという間に過ぎてしまう。今からそういったことに対応しないとまずいのではないか。まちづくりに対してもう少し早く取りかかる必要があると思う。

また在来線と新幹線の駅との間には長い距離がある。都会ならば乗り換えで歩くことは差し支えないが、地方の駅でこれだけ離れていて新幹線と在来線の乗り換えの問題にどう対応するのか？JRや機構の問題であると人任せにするのではなく、議会も関心を寄せてせつつ必要があるのではないか？

A 4 : 新幹線に対する整備も今後そのようなことも視野に入れて取り組んでいく。

(5) 市民からの市議会、市政へのご意見

Q 1 : 財政の厳しい中、相生町で道路を石張りにしたりなぜあんな所にお金をかけるのか。市役所も耐震等級が低く建て替えの時期が来ている。もっと議員はしっかりして欲しい。市は色々なところにお金を使っている。議員はもっと頑張ってもらわなければならない。

A 1 : 相生町の整備については、県のお金を使えるような事業にのせてやっている。市もなるべく少しのお金で大きな経済効果を生むということを考え事業を行っている。そのようなことを議会も検討してゴーを出している。

庁舎の建て替え等も役所でも検討しているし議会でも任意で勉強会をつくって検討もしている。

議会は、市から出されたものを鵜呑みにしているわけではなく、予算についてもしっかりとチェックをしている。

Q 2 : 議員は年に何回議会へ出るのか？誰とは言わないが「こんなボロい商売はない」といっている議員もいる。そんな議員は辞めてもらわなければいけない。

A 2 : 議員が仕事をしているのは議会の時だけではない。普段から事業や予算の使い方などについて、理事者の所へ行って話もしている。さらに、説明会、研修など、かなりの回数役所に足を運んでいる。見えないところでもしっかりと仕事をしていることも分かって欲しい。

Q 3 : リラポートも 2 回業者が変わっているが赤字だと聞く。市がお金を出していると思うが、宿泊出来ない施設ではダメだと思うし税金の無駄使いになると思うが、まだこれからも続けるのか？

A 3 : 市から管理業者へは指定管理料としてお金を支払っている。年間利用者が 20 万人を下回ったことが無いというのは評価できると考えている。また。入湯税も入っている。

Q 4 : 市役所は昼休みになると電気を消している。一生懸命市民のために働いている職員が暗い中食事をとっているのは可哀想だ。

A 4 : 消灯については、省エネということで消灯しているが、必要なときは点灯できるようになっている。

Q 5 : アクアトムについてはどうなっているか？

A 5 : まだ結論は出ていない。結論が出次第皆さんに報告がなされると思う。

敦賀市議会議長 常岡 大三郎 殿

平成 25 年 12 月 26 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 D 班 福谷 正人